

# 一般会計は市の予算の中心。最も

収入と支出のことを市の財政では「歳入・歳出」と呼びます。より良い地域社会を実現するため、市民が納める税金などのお金をあらかじめ使い道を決め計画的に役立てる、それが予算です。なかでも一般会計予算は最も金額が大きく、幅広い分野を含んだものです。

## 歳入

市の施設をつくるなどの目的で行う「市の借金」です。市債は市民も買うことができます。  
関連記事▶P.19

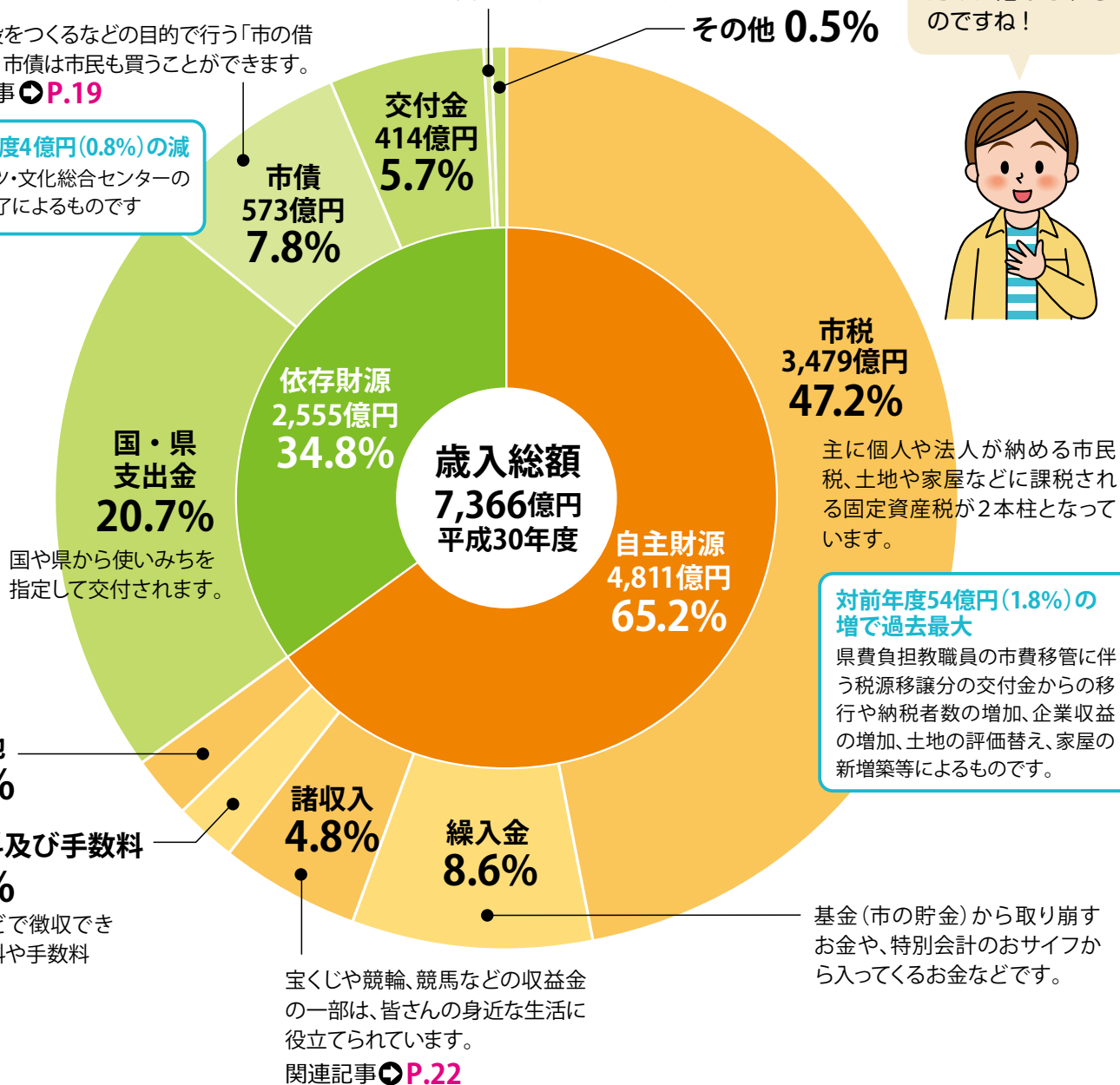
対前年度4億円(0.8%)の減  
スポーツ・文化総合センターの  
整備完了によるものです

### 地方交付税 0.1%

地域(地方自治体)ごとの税収の差を調整するために国から配分されるお金。

### その他 0.5%

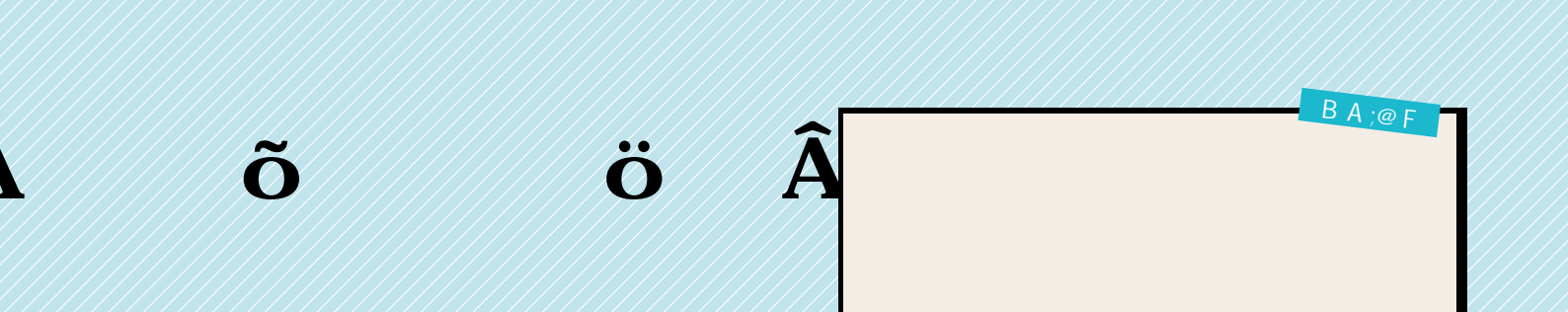
私のお金が社会のために活かされるのですね!



### ことばの解説②

## 自主財源と依存財源

「自主財源」は市が自主的に集めることのできるお金。この割合が高いほど自主的な運営がしやすくなると考えられます。  
一方、「依存財源」は国や県の考え方を反映させ、決まった額を受け取るお金のことです。



À Ö ö Â

BA:@F

